未来の富士吉田市を見据えて・・・

富士吉田忍野スマートインターチェンジ完成に寄せて

思い起こせば議員一期目の時「東富士五湖道路に接続 道路があれば富士吉田市の利便性はますます良くなる」と 発案し、長崎幸太郎衆議院議員(当時)と個人的に会合を 重ね賛同を得たのち一般質問等を通して市に提言をし続け た結果、市長ならびに恩賜林組合また関係各位様にはご尽 力をいただき 2022 年7月に実現いたしました。この事業は 同時に 138 号拡幅事業やリフレふじよしだ等の整備事業と組



み合わせることによって富士吉田市への集客アップに繋がるものとして期待しております。

更に富士見バイパスや東富士五湖道路側道と横町熊穴線外二路線などの道路を有機的に結び付けることで利便性が更に良くなり、防災の観点からも市民の安心・安全に寄与することになると同時に、将来開通するリニア新幹線駅までのアクセス道路整備や富士山災害時の更なる防災のありかたを長崎幸太郎知事に要請し、富士吉田市の未来に寄与するよう積極的に県へ働きかける所存です。

定住促進(Iターン・Uターン等々)

現在、どこの自治体でも問題となっているのが人口減少です。しかしその解決策は容易ではなく、いろいろな人がいろいろ考えていますが、まだ決定的な道筋ができていないのが今の現状であることは周知の事実でしょう。 若者が外に向かうことは基本的に良いことですが「将来戻ってこられる環境」も必要で、このことは同時に外部から人を呼び込むことにも通じると思います。

コロナ禍を経験した私たちは新しい働き方を目の当たりにしました。時間と場所に関係なく良い環境で働きたい要望に対して富士吉田市の資源があるなら例えば福利厚生の充実を求めた大手企業も誘致できると思えるし、現実に近隣地域でもそのような実例は出てきています。今後、様々な調査を実施した上で市の内部に専門の対策チームを創設することが必要だと考えます。

横山ゆうじ プロフィール



公選職歷

富士吉田市議会議員(四期)

文教厚生委員長 / 総務経済委員長 / 建設水道委員長 市議会副議長 / 予算・決算特別委員長 富士吉田市議会運営委員長 / 富士吉田市監査委員 富士吉田市外二ヶ村恩賜県有財産保護組合会議長

平成 22 年度 富士吉田市立吉田中学校 PTA 会長 平成 24 年度 富士吉田市立吉田西小学校 PTA 会長

富士吉田市 PTA 連合会会長

内部検討資料

令和元年 富士吉田市第68代市議会議長

■ 昭和 38 年 6 月 4 日生 座右の銘 「為せば成る |

勇山会後援会事務局 〒403-0005 TEL 070-1220-2951 / 横山携帯 090-3246-8919 富士吉田市上吉田 6 丁目 12-20(2F) FAX 0555-24-1803



横回ゆうじ 沿革と実績、そして…

2005 年 国政選挙にて長崎幸太郎候補に共感、 「Team 幸太郎」を仲間と立ち上げる。



2007年

県知事選挙にて横内正明候補支援。



富士吉田の未来を考え市議会議員になることを決意し立候補

■市民の請願・陳情

2007~2011年市議会議員一期日

中原歩道橋補修工事

国道 139 号中原歩道橋補修を国交省と市に要請し、現在も住民の安全の懸け橋として使用。

第二小学校グランドと鐘山グランドトイレ改修

両トイレ改修を積極的に支援いたしました。

■地域医療

小児初期救急医療センターの富士吉田市誘致

郡内の小児救急の空洞化を危惧し誘致活動に取り組み、同センターを開業することが決定しました。



新規リニアック整備を訪庁し財政支援要請し、市立病院にて運用開始しました。



■市民の安心・安全

2011 ~ 2015 年 市議会議員二期目

除雪と雪害対策

公助の拡充として業者間の垣根を越えた除雪作業を提言。

タイヤシャベル大中6台、通学路用に小型除雪機24台を配備できました。

■子供たちの教育環境充実

小中学校のトイレ洋式化

4年間で 8.6億円の予算が付き平成 26年度 から 30年度までに全校設置終了しました。

会派(みらい)を通して

安全な通学路の確保、子育て事業の支援、 給食センターの充実、市内保育園の芝生化。





■定住促進

2015 ~ 2019 年 市議会議員三期目

企業誘致と定住支援

企業誘致に力を入れており、株式会社奈良紙器様の新工場建設に至りました。 積極的な定住促進の施策ならびに運用の効率化を市に要望。

■子供たちの教育環境充実

全ての保育園・小中学校にエアコン設置

子供たちの健全な教育環境を危惧して全施設にエアコン設置。

通学路の点検と安全確保

大地震発生時の通学路安全確保のため危険個所の把握を要請。



富士北麓公園

■富士吉田忍野スマートインター完成 2019 ~ 2023 年 市議会議員四期目 横山のライフワークの一つが実現

議員一期目から本市の資源を生かせないかという命題に対して東富士五湖道路に接続道路を開通させ、 道の駅と連結することによって街を有機的に機能させる案を構想し、実際に形となり実現しました。

■横町バイパス南の開発、リフレふじよしだの有効活用 リフレふじよしだと国道 138 号の有効活用

東富士五湖道路にスマートインターを設置する発案以来、リフレふじよしだ、国道 138号、更に富士見バイパスから新倉トンネル並びに富士吉田西桂スマートインター を有機的に結び付け防災の強化と本市の資源を生かした魅力発信を山梨県と連携し て提言し、魅力ある富士吉田市に向けて動き始めました。

市道横町熊穴線外二路線の整備事業

陳情道路であった当該路線を防災の観点から富士北麓公園まで<mark>政策道路へ格上</mark>げし、市民の安全を円滑に守ることができます。

■持続可能な経済対策と本市の人口減対策

物価高騰対策として全市民一律一万円支給

ウクライナ危機からの物価高騰に際して持続可能な経済対策を市に要請し、稼げる富士吉田市を維持しつ つ市民一律に現金給付一万円支給を行いました。

アフターコロナの新時代に際して

テレワークなど新しい働き方に対する回答としてサテライトオフィスを推進するのと同時に、本市の利便性を 生かした新しい発想を伴う企業誘致の推進を市に要請し、本市の人口減少問題にも着手し始めました。

■子供たちの安心安全のために

市道団子石中原線の整備事業

子供たちの通学路でもある当該路線の拡幅と安全対策を行いました。

市内 15 カ所に防犯カメラの設置

子供たちを危険から守るため、地域の見守り活動とともに通学路15カ所に防犯カメラの設置をしました。





横山ゆうじ座右の銘

為せば成る